

西宮市視覚障害者図書館 図書館ニュース 第80号

2025年12月発行

〒662-0913 西宮市染殿町8-17 西宮市総合福祉センター4F

電話:0798-34-5554 / FAX:0798-34-4124

E-mail:n-shito@hcc5.bai.ne.jp

利用者の皆様へ

年の瀬が近づき、寒さも一段と厳しくなってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃は、当館をご利用いただき、誠にありがとうございます。「図書館ニュース第80号」をお届けいたします。

今号は、2025年9月から11月までの図書目録を掲載しています。書名の前に通し番号を付けていますので、増補目録としてご活用ください。また、メールでの貸出受付も行っています。

目次

- 1 ページ …… 目次／サービスのご案内
- 2 ページ …… 西宮点訳グループ「読みたい」に寄り添った51年
オンライン対面朗読サービスの開始について
- 3 ページ …… 点字担当職員のおすすめ図書
- 4 ページ …… 当館製作の人気図書ランキング
- 別冊 …… 図書目録(点字・カセット・ディジーの順)

サービスのご案内

◎テレホンサービス

図書の新着情報等をテレホンサービスで24時間流しています。電話は(0798)34-1010です。

毎月2回、第2と第4の金曜日に更新していますので、ぜひご利用ください。

なお、同じ内容を図書館のホームページでもお聞きいただけます。

◎図書の貸出について

お読みになりたい図書のタイトルが決まっていなくても、ご希望のジャンルがございましたら、

リクエストに沿って発送させていただきます。お気軽にお問い合わせください。

◎プライベート図書製作サービス

お手持ちの墨字図書、冊子の点訳・音訳を行なっていますので、ご活用ください。紙代等は実費が必要です。

※すでに他館で製作中の図書については、重ねて製作することはいたしません。お気軽に図書館までお問い合わせ願います。

西宮点訳グループ 「読みたい」に寄り添った51年

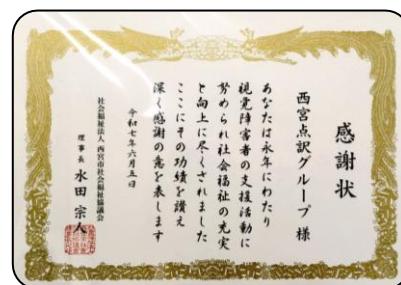
当館で長年、図書等の点訳活動をしてこられたボランティア団体「西宮点訳グループ」が、本年10月をもって51年の歴史に幕を下ろされました。

同グループは1974年9月、市民24名の皆さんにより結成されました。結成時は男性1名・女性23名で、会員の多くが主婦の方々でした。当時の活動内容は「点字図書の作成、中途失明者への点字講習、西宮視力障害者協会および西宮点字図書館への協力」と資料に記されています。

結成以来、「点訳者は第二の著者である」という言葉を励みに、より正確でわかりやすい点訳をめざして邁進してこられました。これまでに製作された図書は757タイトル、2,914巻(42万232ページ)にのぼり、その内容は小説・新聞・雑誌のみならず、レシピや取扱説明書など多岐にわたっています。

点訳は自宅での孤独な作業が多い活動ですが、会員相互の和を最も大切にしながら、献身的に視覚障害のある方々への点訳に取り組んでくださいました。特に近年は4名という少人数で、互いに支え合い、励まし合いながら精力的に活動を続けてこられました。

永きにわたり、当館の点訳事業を支えていただきましたことに、心より感謝と御礼を申し上げます。



オンライン対面朗読サービスの開始について

対面朗読とは、新聞・本・手紙・書類など、ご希望の資料を音訳ボランティアが読み上げるサービスです。今年の秋からは、図書館にお越しいただかなくても、オンラインで対面朗読サービスをご利用いただけるようになりました。そして先日、Zoom(ズーム)を利用したオンライン対面朗読を初めて実施しました。

オンライン対面朗読のメリットは、ご自宅にいながら利用できる点です。インターネット環境さえあればアクセスできますので、ガイドヘルパーさんと一緒に来館していただく必要もありません。

一方デメリットとして、当日に読む資料のやり取りが必要になるため、事前に図書館へ資料を郵送していただくなど、少し手間がかかります。当館としては、長編の本などを図書館にお預けいただき、長期間にわたって継続的にご利用いただく方法をおすすめしております。

オンライン対面朗読は、インターネットに接続された機器(パソコンやスマートフォンなど)をお持ちで、メールでのやり取りが可能な方を対象としています。

ご利用にあたっては、事前にZoom(ズーム)アプリのダウンロードをお願いいたします。読み上げを希望される資料は図書館宛にお送りください。その際、返送時に使用するレターパック等を同封していただきますようお願いいたします。

●実施日:毎週月曜日~金曜日

●開始時刻:午前は10時頃から、午後は1時30分頃から

●利用時間:1.5~2時間程度

●予約方法:ご利用希望日の一週間前までに、図書館へお申し込みください。

電話:(0798)34-5554/E-mail:n-shito@hcc5.bai.ne.jp



* 点字担当職員のおすすめ図書 *

令和7年も残すところあと僅かとなりました。大阪・関西万博の開催、映画『国宝』の予期せぬ大ヒット、初の女性総理の誕生など、様々な出来事がありました。皆さまはどのような1年を過ごされましたでしょうか。

今年は、「レイ・ブライユの6点点字考案から200年」「日本の普通選挙法で、点字による投票が世界で初めて認められてから100年」という節目の年にあたります。私にとっては、視覚障害の方々が、生活の向上や権利の獲得に奮闘し続けてきた歴史について、思いを巡らす機会の多い1年となりました。

加えて、2025年はある時代から数えて大きな区切りの年でもあります。昭和元年からちょうど100年、そして戦後80年にあたる年なのです。それを記念して刊行されたのが、今回紹介する『普天を我が手に』です。

ふてん わ て だいいちぶ
『普天を我が手に 第一部』 奥田 英朗著

昭和元年は、1926年12月25日から31日までの、たったの7日間。その7日間に東京の陸軍少尉、女性社会運動家、金沢の賭場を取り仕切る一家の親分、大連の興行主の子どもとして4人の男女が誕生します。全く異なる場所と環境で育つ子どもたちが、昭和という激動の時代を強く逞しく生き抜いていくうちに、運命の歯車が噛み合って互いの人生が交差するようになります。

この小説は、著者である奥田英朗が、「昭和という時代そのものを小説にしたい」と作家になって間もない頃から構想を練り、執筆に10年の歳月かけたという大作です。全3部・墨字版で各部600頁という、近年の新刊では珍しいほどの長編に、手に取るのをためらってしまうかも知れません。しかし、長さを理由に読まないのではあまりにもったいない！1章1章が短く、主人公4人の物語が順番にテンポよく進んでいくため、飽きないどころか続きが気になってやめられなくなること請け合いです。

12月現在、『普天を我が手に 第一部』の点字版は、鋭意製作中です。楽しみにお待ちください。なお、ディジー版はご利用いただけますので、お読みになりたい方は図書館までご連絡ください。

今後物語は第二部、第三部と続き、ますますドラマチックな展開が待ち受けます。皆さんも主人公たちと共に、昭和の熱い時代を駆け抜けてみませんか。

当館製作の人気図書ランキング

サピエ図書館のダウンロード状況集計を元に作成しました。
集計期間は2025年1月1日～2025年11月30日です。

●点字図書●

1	ニンジャ(公安外事・倉島警部補 [8])	今野 敏著	81回
2	リアル 日本有事	麻生 幾著	76回
3	星の教室	高田 郁著	57回
4	「長生きする人」の習慣、ぜんぶ集めました。	工藤 孝文監修	56回
5	署長サスペンション	今野 敏著	55回
6	さやかの寿司	森沢 明夫著	48回
7	青姫	朝井 まかて著	40回
8	ルパンの帰還	横関 大著	36回
9	絵馬と脅迫状	久坂部 羊著	35回
	日比野豆腐店	小野寺 史宜著	35回

※なお、全国でよく読まれている点字図書には『iPhone完全マニュアル 2024』(スタンダード発行)、『目の見えない精神科医が、見えなくなつて分かったこと』(福場 将太著)、『国宝 上 青春篇』(吉田 修一著)などがあります。

●録音(ディジー)図書●

1	せいしょくき 生殖記	朝井 リョウ著	2,563回
2	ぶとうけいじ たかとうさえ 武闘刑事([高頭冴子シリーズ] [3])	中山 七里著	2,368回
3	よるでか 夜刑事	大沢 在昌著	2,134回
4	さっかけいじ ぶすじま ぼうげん 作家刑事毒島の暴言	中山 七里著	1,383回
5	あきばだんそう 秋葉断層	佐々木 譲著	1,354回
6	しょくぶん 職分	今野 敏著	1,332回
7	いてぞらひ 凍空と日だまりと おもみいたします	あさの あつこ著	1,300回
8	はるた かぜ みろく 春立つ風([「弥勒」シリーズ] [13])	あさの あつこ著	1,087回
9	やみ 間をわたる セレブ・ケース	どうば 堂場 瞬一著	1,069回
10	たか ひしょう 鷹の飛翔	どうば 堂場 瞬一著	981回

※なお、全国でよく読まれている録音図書には『国宝 上 青春篇』(吉田 修一著)、『カフネ』(阿部 暁子著)、『今さらこんなこと他人(ひと)には聞けない辞典』(日本の常識研究会編著)などがあります。